



三笠宮寛仁さま逝去

66歳、ひげの殿下

がん手術繰り返し

三笠宮家の長男、寛仁さまが6日午後3時35分、東京都千代田区の佐々木研究所付属杏雲堂病院で亡くなられた。66歳だった。住まいは東京・元赤坂の赤坂御用地内にある寛仁親王邸。宮内庁が葬儀の日取りや場所な

どを検討する。天皇陛下のいとこで、「ひげの殿下」として知られた。皇位継承順位は第6位だった。寛仁さまの死去により、天皇陛下と皇族で構成される皇室は22人になった。1991年に食道がん

を切除する手術を受けて以降、喉や舌のがん治療に伴う手術を繰り返した。昨年12月に入院し、今年3月にかけて2回手術後、入院療養を続けていた。福祉活動やスポーツ振

興に取り組む一方、自ら2005年11月に政府

の「皇室典範に関する有識者会議」が出した女系天皇容認の結論に「男系が続いてきた皇室の伝統に反する」と雑誌などのインタビューに答え、異議を唱えた。



三笠宮寛仁さま

略歴 1946年1月5日、4人兄弟だった昭和天皇の末弟、三笠宮崇仁さまの第1男子として生まれた。学習院法学部を卒業後、68〜70年に英オックスフォード大に留学。帰国後、札幌五輪組織委員会事務局や沖縄国際海洋博覧会世界海洋青少年大会事務局に勤務した。福祉分野に関心が深く、恩賜財団済生会、友愛十字会、日本・トルコ協会などの総裁を務めた。妻は吉田茂元首相の孫で麻生太郎元首相の妹、信子さま。子どもは彬子さま、瑤子さまの2女。